

特 集

日本赤十字豊田看護大学における 学生に対する新型コロナワクチン接種

村瀬 智子¹

I. はじめに

2011年3月11日に東北関東を襲った未曾有の大震災から丁度9年後の2020年3月11日、世界保健機構(WHO)は、新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックを宣言した。この宣言を受けて、看護学基礎教育においては、新型コロナウイルス感染症の災禍の中で教育の質を担保しつつ、看護学生の安全な学習を継続する課題に全力で取り組むことになった。

特に、看護学の基礎教育課程においては、学内での講義・演習を統合する科目として、基礎看護学実習、看護学領域別の各論実習、統合実習、公衆衛生看護学実習等が教育計画として組まれている。実習科目は、各科目の教育目的を達成するために、実習施設での実際の看護を経験することが必要不可欠な学習方法である。しかし、実習受け入れ施設は、新型コロナウイルス感染症の対応病棟もある等、感染リスクが大きい。

そこで、本学では、学生の感染拡大に対応した臨地看護学実習計画と感染予防行動を徹底する取り組み(原田, 東野, 村瀬, 2021)を行うと共に、新型コロナウイルス感染予防対策本部会議において、新型コロナウイルス感染症から学生の安全を確保するための一方法として感染症学の専門家によって推奨されている新型コロナウイルスワクチンの先行接種について検討を行った。その結果、本学の方針として、「医学生等の医療従事者に準ずる者」という枠組みの中で、ワクチンの先行接種を計画的に進めることができた。

本稿では、学生の新型コロナウイルスワクチン先行接種への取り組みの経緯と今後の課題・展望について述べる。

II. 学部生のワクチン接種計画

1. 学部生(4・3年生)に対するワクチン接種(医療者への先行接種)

厚生労働省健康局健康課長から各都道府県衛生主管部(局)長宛に発出された「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について」(令和3年1月8日付 健健発0108第1号)及び「接種順位が上位に位置づけられる医療従事者等の範囲について」(令和3年2月16日付 健健発0216第1号)によれば、「医学部生等の医療機関において実習を行う者については、実習の内容により、新型コロナウイルス感染症患者に頻繁に接する場合には、実習先となる医療機関の判断により対象とできる」とされ、注意点として、「ワクチンの基本的な性能として発症予防・重症化予防が想定され、感染予防の効果を期待するものではないことから、患者への感染予防を目的として医療従事者に接種するものではないことに留意(医療従事者等は、個人のリスク軽減に加え、医療提供体制の確保の観点から接種が望まれるものの、最終的には接種は個人の判断であり、業務従事への条件とはならない)」と記載されている。

日本看護系学会協議会(Japan Association of Nursing Programs in Universities: JANPU)から、「医学部生等の医療機関において実習を行う者」に看護学生が含まれることを文部科学省に確認したとの連絡があった。その上で、一般接種が開始される前に臨地実習を行う学生に対するワクチンの先行接種を実施するための協力について、近隣の実習先である医療施設を中心に打診し、調整を行った。その際には、医療施設の学生実習受け入れ条件の判断基準に関する確認も行った。学生のワクチン先行接種に関する依頼先、及び依頼人数については、表1のとおりである。

¹ 日本赤十字豊田看護大学
新型コロナウイルス感染予防対策本部

ワクチン先行接種に関する条件等は、以下のとおりであった。

- ・先行接種の取りまとめは、愛知県が行うと説明された。
- ・4月実施の先行接種に係る申し込み期限は2/19、名簿提出は2/22であった。
- ・5月以降実施の先行接種に係る申し込みは3月下旬予定という説明であった。
- ・接種費用は無料であった。
- ・同一の医療施設で3週間の間隔を空けて2回接種することとし、ワクチンの種類選択は不可であった(医療施設での先行接種のワクチンはファイザー社製ワクチンであった)。
- ・医療施設の接種計画の従うため、日時は医療機関から提示されることになっていた。
- ・個人情報の取り扱いに注意するよう説明された。

そこで、まず、学部長メッセージ ver.8 (図1) を発出すると共に、学生に対し、ワクチン接種に関して、資料を用いて対面で説明を行った。そして、先行接種に関する同意について、Formsを用いた調査を行うことと(図2)、後日、改めて書面で同意を得ることを伝えた。ワクチン接種に関する不安なことがある場合の相談窓口は、ICD (Infection Control Doctor)、学部長、学務課職員とした。その上で、調査を実施し、接種に関する同意を得た後に調査結果をとりまとめ、学生毎の実習開始時期を考慮した接種計画を立案した。

2. 学部生(2・1年生)に対するワクチン接種(大規模集団接種)

大規模集団接種会場については、愛知県保健医療局

健康医務部医務課看護対策グループから、看護師等学校養成所の担当者宛に「愛知県で開設するワクチン大規模集団接種会場でのキャンセル分を県内の看護師等学校養成所の看護学生及び教員に活用する方向で計画している」(令和3年5月19日)との連絡がメールであり、翌日までに回答を求める調査があった。そこで、すぐに調査に回答し、主に1・2年生のワクチン接種を進める準備を整えた。

そのため、学生のワクチン接種については、早期実施の可能性が高い近隣の医療施設等と大規模集団接種会場における接種を組み合わせる計画することとした。

3. 職域接種申請と取り下げ

一方、文部科学省から「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する職域接種の要望確認」に関する調査依頼(事務連絡令和3年6月3日 文部科学省高等教育局高等教育企画課)があり、その後「『大学拠点接種』実施にあたっての留意点等について(周知)」(事務連絡令和3年6月25日 文部科学省高等教育局高等教育企画課)の通知があった。本学の学生(3・4年生)及び医療系教員は既にワクチン接種を終え、1・2年生は大規模集団接種会場(藤田医科大学)での接種が計画されていたが、教養科目の教員及び職員のワクチン接種の目途が立たなかった。さらに、愛知学泉大学からの職域接種実施の要請があり、本学の学生の家族、職員及び教職員の家族をも対象として、職域接種の可能性を検討した。看護学実習開始等によって実施可能な日程が1日のみであったが実施期日を決定し、救急対応医師と薬品を手配し、会場使用に関する豊田市との調整等を経て、職域接種を申請した。しかし、厚生労働省からワクチンの供給の見通し

表1 学生のワクチン先行接種に関する依頼先及び依頼人数

依頼先	対象	人数	備考
名古屋第一赤十字病院 (現 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)	4年生 3年生	50名	4/16~5/13に2回接種が完了するスケジュールで調整
名古屋第二赤十字病院 (現 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)	3年生	48名	4月実施の先行接種申し込み期限に間に合わず、第2段階の先行接種で対応依頼
豊田厚生病院	4年生	36名	4月実施の先行接種申し込み期限に間に合わず、第2段階の先行接種で対応依頼

がつかない事態が報告され、職域接種実施の日程調整が困難となり、止む無く申請を取り下げることとなった。

Ⅲ. 学部生のワクチン接種の実施

1. ワクチン接種及び副反応に伴う欠席の取り扱い

ワクチン接種は、医療施設の接種計画により日時が指定されることから、ワクチン接種を受ける学生が授

業に参加できない事態が生じることが予測された。そこで、教務委員会に対応についての検討を依頼し、実習中である4年生、講義を受講中の3年生に対し、以下の対応をとることとし、学部長メッセージ ver.8 の発出と口頭での周知を行った。

【4年生】

《ワクチン接種日の対応》

- ・ワクチン接種のために実習に参加できなかった時

令和3年4月15日

学部生の皆さんへ ver. 8

皆さん、こんにちは。新年度が始まり対面授業を開始しました。元気に登校して下さっている皆さんの姿を拝見し、嬉しく思います。体調を崩さないようにしましょう。

最近の新型コロナウイルス感染拡大状況は、変異ウイルスによる感染拡大が危惧され、第4波に入ったという意見もあります。豊田市では、5月末から高齢者を対象としたワクチン接種が始まりますが、気を緩めることなく感染防御行動を徹底して実践していきましょう。今後の感染拡大状況によっては、授業形態を変更する場合があります。各自、メソフィアやメール等で確認するよう心掛けて下さい。

実習生のワクチン先行接種についてお知らせします。

【4年生】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種に同意する人について、名古屋第一赤十字病院（50名）、名古屋第二赤十字病院（48名）、豊田厚生病院（31名）の3施設で、ワクチン接種が受けられるように調整しました。4月16日から名古屋第二赤十字病院で接種が始まります。その他の施設で接種を受ける人も、すでに名簿は提出していますので、施設から日程の連絡があり次第、お伝えします。

・ワクチン接種のために出席できなかった授業は、欠席として取り扱いませぬ。

・ワクチン接種後の副反応による授業欠席は「やむを得ない理由による欠席」として扱います。
詳細は、「COVID-19 ワクチン接種者が授業に参加できないことへの対応について」（4月14日教務委員会）を参照し、わからないことがある場合は学務課にお尋ねください。

【3年生】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種に同意する人について、名古屋第一赤十字病院（約70名）、名古屋第二赤十字病院（70名）の2施設で、ワクチン接種を受けることができるように調整しています。名古屋第二赤十字病院は、すでに4月19日・21日、5月10日・12日に接種日程が組まれています。名古屋第一赤十字病院は、今のところ調整中です。施設から連絡があり次第、お伝えします。後期の実習までには接種できるように調整します。

・名古屋第二赤十字病院でのワクチン接種日の授業開講スケジュールを変更しましたので、確認しておいてください。変更した科目は、「精神看護学Ⅰ」と「疫学Ⅰ」です。

・ワクチン接種後の副反応による授業欠席の取り扱いは、4年生と同様です。「COVID-19 ワクチン接種者が授業に参加できないことへの対応について」（4月14日教務委員会）を参照し、わからないことがある場合は学務課にお尋ねください。

【1・2年生】

- ・1・2年生ともに、年末から年明けの実習開始までに新型コロナウイルスワクチン接種に同意する人に対してワクチン接種ができるように調整します。具体的なことがわかり次第、お伝えします。

・個別接種ができる状況にある人は、事前に学務課に相談してください。看護学部長 村瀬智子

図1 学部長メッセージ ver.8（学部生のワクチン先行接種に関する部分のみ抜粋）

間も出席として扱う。

- ・学習を充足させる方法は、担当教員の指示に従う。
- ・ワクチン接種当日の午後は名古屋第二赤十字病院のサテライトキャンパスを利用可能。

《ワクチンの副反応により欠席した場合の対応》

- ・欠席する日の朝に学務課に報告することで、「やむを得ない正当な理由による欠席」として取り扱う。
- ・診断書の提出は求めない。症状を「ワクチン接種後副反応調査」に記載し、次の出校日に学務課に提出する。
- ・欠席により補習実習を行う場合の費用（3000円）は徴収しない。
- ・ワクチンの副反応による欠席自体は、評価に影響しない。

【3年生】

《ワクチン接種日の対応》

- ・ワクチン接種日の2科目の開講スケジュールを変更する。

《ワクチンの副反応により欠席した場合の対応》

- ・欠席する日の朝に学務課に報告することで、「やむを得ない正当な理由による欠席」として取り扱う。
- ・診断書の提出は求めない。症状を「ワクチン接種後副反応調査」に記載し、次の出校日に学務課に提出する。
- ・欠席した日の授業資料等は担当教員（非常勤講師の場合は学務課）に確認する。
- ・ワクチンの副反応による欠席自体は、評価に影響しない。

さらに、7月9日には、学部生全体に向けて、改めて以下のようにワクチン接種による授業欠席の取り扱いについて周知した。

- ・大学が設定するワクチン接種に伴う授業欠席は「公欠」とする。
- ・ワクチン接種後の副反応による授業欠席も「公欠」とする。

【回答期限 2/22（月）午前10：00】新型コロナウイルスワクチン接種の調査について

令和3年2月16日付の厚生労働省建国局健康課長から、「接種順位が上位に位置づけられる医療従事者等の範囲について」通知（※）に記載のとおり、医療従事者に対して早期にワクチン接種が開始されております。

（※）ファイルを添付しております。メソフィアにログインしてご確認ください。

「医学部生等の医療機関において実習を行うものについては、実習の内容により、新型コロナウイルス感染症患者に頻繁に接する場合には、実習先となる医療機関の判断により対象とすることができる」と書かれております。医学部生等の中には、看護学生も含まれます。

本学においても実習病院において、新型コロナウイルスワクチンを医療従事者に準じて早期に接種する手続きを進めております。つきましては、接種に対する同意の有無について調査をいたします。

同意をする方は氏名および住所（住民票の住所）等を令和3年2月22日（月）午前10時までに入力してください。入力期限は厳守です。

接種日は、4月中旬以降を予定しております。接種場所は今後調整するため、現時点では未定です。なお、接種数に限りがありますので、実習の配置等を考慮して順次接種を決定いたします。また、後日、同意書にサインしていただきます。ご理解のほど、お願いいたします。

1. 新型コロナウイルスワクチン接種の同意の有無についてお知らせください。
同意する 同意しない
2. (同意する方) ご自身の学籍番号を入力してください。
3. (同意する方) ご自身の氏名のフリガナを入力してください（カタカナで入力してください）。
4. (同意する方) ご自身の名前を入力してください（漢字で入力してください）。
5. (同意する方) ご自身の生年月日を入力してください。
yyyy/MM/dd の形式で日付を入力
6. (同意する方) ご自身の性別を選択してください。
男性 女性
7. (同意する方) 接種には住民票の住所が必要となります。住民票の郵便番号を正しく入力してください。
8. (同意する方) 接種には、住民票の住所が必要となります。住民票の住所を正しく入力してください。
9. (同意する方) 現住所の郵便番号を正しく入力してください。
10. (同意する方) 現住所の住所を正しく入力してください。
11. (同意する方) すぐに連絡のつく電話番号（携帯電話等）を入力してください。

図2 学生に対する先行接種同意に関する Forms を用いた調査内容

但し、教員が必要と認めた場合は、補習・補講を受けることができる。「補習実習願」に添付が必要な診断書については、学生が提出した「ワクチン副反応報告書」をもって替える。補習実習費は求めない。

2. 学部学生のワクチン接種状況

各論実習を展開中の4年生の先行接種について、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、名古屋第二病院、豊田厚生病院にて、ワクチン接種に同意をした129名について、早期に接種をしていただくことができた。

次に、後期から各論実習を開始する3年生のワクチン接種について、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋掖済会病院、豊田地域医療センターにて、ワクチン接種に同意をした125名について、早期に接種をしていただくことができた。さらに、4名が大規模集団接種会場にて接種を受けた。

2年生と1年生に関しては、基礎看護学実習期間が12月から始まるため、大規模接種会場での集団接種を念頭に、授業時間等を調整し、2年生121名、1年生129名が接種を受けることができた。

各学年のワクチン接種率は、表2に示すとおりである。4年生と3年生は97.0%、2年生と1年生は96.0%であった。ワクチン接種については、あくまで任意であり、学生から同意書を提出してもらい、それをもとに接種を行った。現在、アレルギー等により、重篤な副反応が危惧される学生を除いた508名の学生が2回目までの接種を終えている。

JANPUの「2021年度看護系大学生の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチン接種状況等に関する緊急調査結果報告書」（JANPU, 2021）を確認すると、附属の病院がない131学部では、接種率0-10%が84.0%であり、91-100%が6.9%であった。また私立大学166学部をみると、接種率0-10%が66.9%であ

表2 学部生のワクチン接種状況概要（2021年9月8日現在）

項目 学年	1回目 接種日	2回目 接種日	3回目 接種日 (予定)	大学手配 接種者数 (名)	接種率 (%)	接種施設等	教職員引率者数 (名)	
							1回目 2回目	3回目
4 年 生	4/16 ～ 5/27	5/7 ～ 6/17	1/7 ～ 2/17	129	97.0	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 名古屋第二病院 豊田厚生病院 名古屋掖済会病院	4 8 6 —	6 — — 1
3 年 生	4/19 ～ 7/14	5/10 ～ 8/11	1/10 ～ 4/11	129	97.0	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 名古屋第二病院 名古屋掖済会病院 豊田地域医療センター 大規模接種会場	— 8 4 4 —	4 — 2 — —
2 年 生	5/27 ～ 7/14	6/24 ～ 8/11	2/24 ～ 4/11	121	96.0	大規模接種会場	6	10
1 年 生	5/28 ～ 7/14	6/25 ～ 8/11	2/25 ～ 4/11	129	96.0	大規模接種会場	7	
合計	—	—	—	508名	—	—	47名	23名 予定

り、91-100%が14.5%であった。これらの値からも、本学学生のワクチン接種率が非常に高かったことがわかる。

このような取り組みが早期に実施できたのは、本学の看護学教育に対する近隣の医療施設のご理解とご協力の賜物である。また、表2に示すように、学生のワクチン接種にあたっては、本学の看護教員をはじめとする多くの教職員が引率者としての役割を担った。このことは、ワクチン接種を受ける学生の不安軽減につ

ながったと考える。また、第3回目のワクチン接種計画については、学部長メッセージ ver.15 (図3)により学生に周知し、対面でも説明を実施した。

IV. 今後の課題・展望

現在、新型コロナウイルス感染症は、変異株であるオミクロン株の感染拡大により、我が国でも第6波の感染リスクが高まっている。新型コロナウイルスは、

令和3年12月2日

学部生の皆さんへ ver.15

皆さん、こんにちは。令和3年も残すところ1か月となりました。体調を崩していませんか。

我が国においても新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）による感染が確認され、感染拡大を防止するための対策が急がれています。そこで、新型コロナウイルスワクチン第3回目接種について、準備状況をお知らせします。第3回目のワクチン接種については、愛知県による大規模接種は実施されません。そのため、現在、大学の方で接種施設の調整をしているところです。各学年の接種方針については、以下のとおりとなりますので確認してください。引き続き、感染予防行動を徹底しましょう。

【4年生】

- 新型コロナウイルスワクチン3回目接種に同意する人について、以下のとおり、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、豊田厚生病院の2施設でワクチン接種を受けられるよう調整しています。

第1・2回目接種施設	人数	ワクチン種類	第3回目接種予定施設	備考
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	48名	ファイザー	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	
豊田厚生病院	33名	ファイザー	豊田厚生病院	交渉中
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	48名	ファイザー	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	

【3年生】

- 新型コロナウイルスワクチン3回目接種に同意する人について、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、名古屋掖済会病院の2施設でワクチン接種を受けられるよう調整しています。

第1・2回目接種施設	人数	ワクチン種類	第3回目接種予定施設	備考
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	70名	ファイザー	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	
名古屋掖済会病院	30名	ファイザー	名古屋掖済会病院	
豊田地域医療センター	25名	ファイザー	名古屋掖済会病院	
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	48名	ファイザー	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	
大規模接種会場	4名	モデルナ	個人接種	各自で接種

- 接種日程については1月末から2月を予定しています。同意書を学務課まで提出してください。
- 名簿の提出が必要になります。住所等項目について変更のある方は学務課まで申し出てください。調査Formsを送付します。接種時には、接種券と保険証、予診票を必ず持参してください。第3回目のワクチン接種は、原則として第1・2回目の接種と同じ種類のワクチン接種となります。第1・2回目でモデルナを接種した人は、個人接種となりますのでご確認ください。詳細については学務課から連絡します。

【2年生】・【1年生】

個人接種とします。大学としての手配は行いません。各自、接種券が届いた時点で、接種会場、日程を予約して、それぞれで接種をしてください。3回目の接種をされた方は必ず学務課へ報告をしてください（調査Formsを送付します）。

看護学部長 村瀬 智子

図3 学部長メッセージ ver.15 (第3回ワクチン接種の準備状況周知)

私たち人類の想定を遥かに超えるスケールで進化し続けており、これまでの日常は非日常化し、医療、経済においても世界的規模で脅威をもたらしている。

現段階で、感染予防対策としては第3回目のワクチン接種が急がれている。接種にあたっては、第2回目接種から原則として8か月間の間隔をあけることが推奨されている。そのため、本学でも表2に示すとおり、第2回目から8か月の間隔をあけて、第3回目のワクチン接種計画を立案し、特に4年生と3年生については、接種受け入れ施設の調整が終了した段階である。2年生と1年生については、第2回目接種から8か月以内に基礎看護学実習が実施されるため、現段階では、個別接種による対応を予定している。

私たちは今、新たな感染症の世界的流行のみならず、地震、豪雨などの自然災害や、国家間の紛争等の中にあって、翻弄されながら生活している。しかし、パンデミックと創造性は、実は、プロセスにおいては同型性があり、基本原理は同一である(村瀬, 村瀬, 2020)。今こそ、本学の建学の精神である「人道」の精神を具現化し、過去の教訓から学び、未来につなぐ看護教育を共に創ることが必要ではないだろうか。

新型コロナウイルスによる感染拡大の一日も早い終息を望みつつ、いつ、いかなる時も、大学として、本学で学ぶ学生にとっての安全な学習環境を提供する努力を継続していきたいと思う。

謝辞

本学学生の新型コロナウイルス感染症のワクチン先行接種に際し、多大なご理解とご協力を賜りました近隣の医療施設関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

引用文献

原田真澄, 東野督子, 村瀬智子 (2021). 新型コロナウイルスの感染拡大に対応した臨地看護学実習計画と感染予防の取り組み, 日本赤十字豊田看護大学紀要, 16 (1), 35-38

厚生労働省健康局健康課長通知「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について」(令和3年1月8日付け健健発0108第1号) <https://www.mhlw.go.jp/content/000717766.pdf> (2022年2月9日)

厚生労働省健康局健康課長通知「接種順位が上位に位

置づけられる医療従事者等の範囲について」(令和3年2月16日付け健健発0216第1号)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000740164.pdf> (2022年2月9日)

文部科学省高等教育局高等教育企画課通知「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する職域接種の要望確認」に関する調査依頼(事務連絡 令和3年6月3日)

https://www.mext.go.jp/content/20210604-mxt_daigakuc01-000015761_1.pdf (2022年2月9日)

文部科学省高等教育局高等教育企画課通知「『大学拠点接種』実施にあたっての留意点等について(周知)」(事務連絡 令和3年6月25日)

https://www.mext.go.jp/content/20210625-mxt_daigakuc01-000015761-05.pdf (2022年2月9日)

村瀬智子, 村瀬雅俊 (2021). 未来から描くケア共創看護学 - 自然・生命・こころ・技の循環 -, 大学教育出版

日本看護系大学協議会 (2021). 2021年度看護系大学生の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ワクチン接種状況等に関する緊急調査結果報告書. <https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/2021JANPUkinkyuchosa-houkoku.pdf>, (2022年2月9日)